

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

青森県 外ヶ浜町

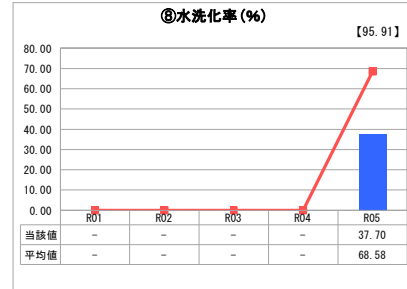
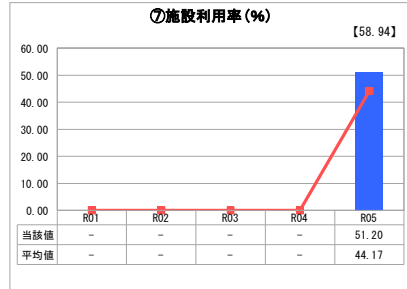
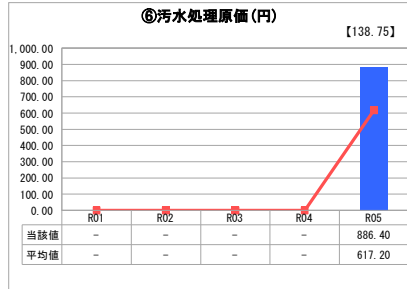
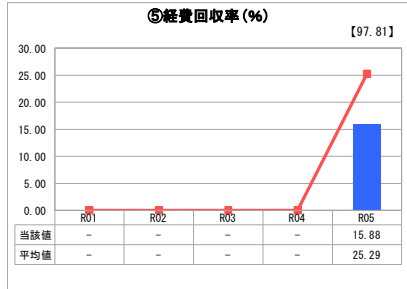
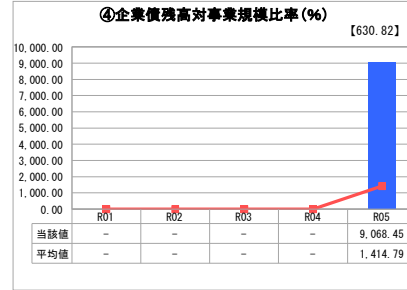
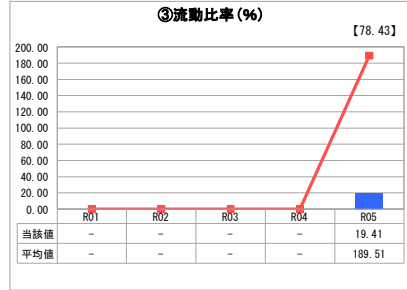
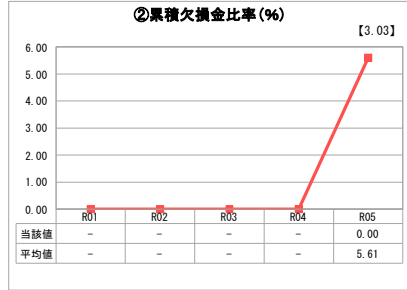
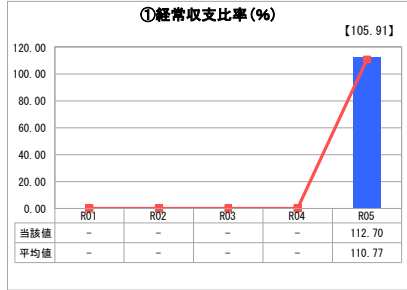
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	24.83	22.90	86.06	2,860

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,152	230.30	22.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,167	0.80	1,458.75

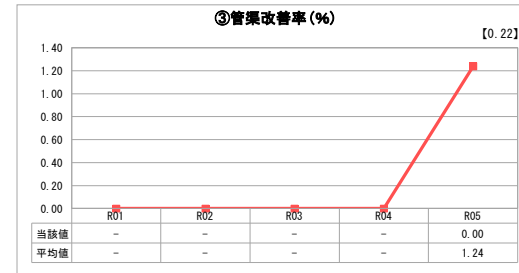
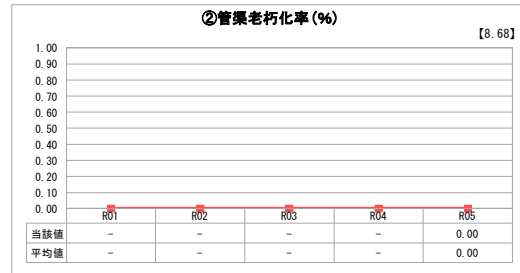
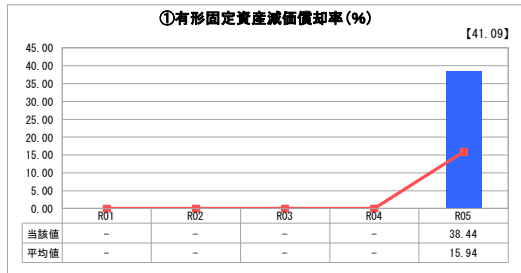
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超える状況だが令和5年度は単年度の収支不足が生じたため、基準外繰入を実施している。事業規模に対して下水道使用料が少ないことが原因である。

流動比率は、類似団体と比較すると約9.8倍の差がある。流動負債の約98.1%が企業債の償還であるため比率の改善は困難であるが、使用料増加に向けて加入促進を努めていく。

企業再残高対事業規模比率は、類似団体の約6.4倍であり、依然として高い比率となっている。これは事業規模を大きく上回る企業債残高であり、厳しい財政状況である。

経費回収率は、類似団体と比較すると約37.2%下回っている。前年度に比べて約46.1%の減少だが減価償却等が主な要因である。

汚水処理原価は、類似団体と比較すると約30.3%上回っている。汚水処理費の削減に向けて取り組みしていく。

水洗化率は、類似団体と比較すると大幅な差があるが前年度と比べると4.06%上回っている。処理区域内は、世帯数の減少と高齢世帯の増加が著しいため、下水道の加入促進を行い、水洗化率の向上を努めていく。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から10年以上が経過したが、自然災害や設備機器の故障等の緊急性がある場合以外は、更新を行わない。今後は、ストックマネジメント計画を策定し、施設の長寿命化を図っていく。また、改築等の財源の確保や経営に与える影響等を踏まえた分析をしながら、長期的な視点で施設の維持管理を行っていく。

管渠については、令和7年度まで新たな管布設を行う予定である。更新については、最も古い管渠が布設から経過年数が25年以上という状況であることから、管渠の耐用年数が50年ということを考慮して、現状では実施しない予定である。

## 全体総括

企業債残高が多く、収入の大部分を一般会計からの繰入金が占めていることによって、非常に厳しい経営状態であるため、使用料や汚水処理費等の見直しを検討していくことが必要だと考えられる。現状を把握し、将来の見込み等を踏まえた上で、経営改善に向けた取組を行っていく。

施設の老朽化対策については、今後の施設更新・改築にあたり、事業費の大幅な増加が見込まれるため、適正な財源確保や投資計画の見直しをしながら事業を進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。